

なん  
ほろ

# 議会だより



高齢者水中ウォーキング教室にて

第2回  
定例会

6月15日

## 防災行政無線設備整備 工事契約を可決

6月定例会は6月15日に開会し、8名の議員が11項目について一般質問を行いました。その後、平成28年度会計補正予算、工事請負契約、規約変更など12議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・承認し閉会しました。

平成28年度補正予算

○一般会計

補正予算(第1号)

歳入では、歳出補正の各事業に係る国庫支出金、一般寄附金の追加。

歳出では、平成28年熊本地震災害義援金、地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業委託料、年金生活者等支援臨時福祉給付金並びに臨時福祉給付金支給事業、各公共施設設備修繕料等の追加によるものです。

質疑

議員

コミュニティ・スクールについて、学校運営協議会の主な役割の中で教職員の任用に関して教育委員会に意見を出すことができる点があるが、どのように反映されるのか。導入に向けての経過は。

**教育長** 学校運営協議会の役割は、地域と一体となった学校を目指すもので、教職員の任用については、例えば少年団など、指導できる先生がほしいというような意見があれば、人事の中で検討をしていかなければならないものと考えています。

その他

○町道路線の変更

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

○平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

第2回臨時会 5月27日

第2回臨時会は、専決処分4件、財産の取得1件が提案され、原案のとおり可決しました。

専決処分

○平成27年度南幌町一般会計補正予算(第6号)

歳入では、地方消費税交付金、特別交付税の最終確定に伴う追加、及び地方創生加速化交付金の減額。歳出では、財政調整基金積立金の追加。空知・首都圏交流基盤創設事業関連経費、町道除排雪事業経費の減額により専決処分するものです。

質疑

議員

空知・首都圏交流基盤創設事業がなぜ補助対象外になったのか。

**まちづくり課長** 当初地方創生総合戦略に基づいた事業で推進するものに対して支援するというものではないが、途中からまち・ひと・しごと創生の仕事づくりに重点を置く事業に対して支援するという方向に変わり、不採択となったものです。

空知総合振興局では、平成28年度に対策を検討しているとのこと。

条例制定等

○町税条例(改正)

○南幌町国民健康保険税率(改正)

地方税法の一部改正のため。

○固定資産評価審査委員会条例(改正)

行政不服審査法の一部改正のため。

契約関係

○財産の取得

取得物件 通学バス(1台)

取得価格 2,101万890円

取得相手 北海道日野自動車(株)岩見沢支店

町政を知る良い機会

議会を

傍聴しませんか!

第3回定例会は9月開催です。



※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー、ほろろ図書室並びにホームページでご覧になれます。

# 一般質問

8人の議員が一般質問に立ち  
町長の考えをただしました

**問** 女性が住みやすいまちづくりを

**答** 第6期総合計画の中で総合的に検討

菅原 文子 議員



菅原議員

本町では、子育て支援策の充実に力を入れ、知名度アップにもつながっていると思います。しかしながら、本町の特殊出生率は年々、下降して、高校や大学を卒業する若い女性の転出も目立ってふえています。これからのまちづくりには女性が安心して住むことができるということが必須

条件となつてきます。女性が子供を生み育てることだけではなく、いかに女性が元気で楽しく安心して暮らしていけるまちづくりをするかということだと考えます。そこで町長に伺います。

- ①合計特殊出生率を上げるためにどのような施策を考えているのか。
- ②女性が住みやすいまちづくりをどのようにしていくのか。

町長

「南幌町人口ビジョン」を策定し、中長期的に子供の出生率をふやすこと、合計特殊出生率を上げることが重要であると考えています。目指すべき将来の方向

性として、親の夢や希望と子供たちが元気で活気あふれるまちにするための施策を推進し、将来を担う若い世代の結婚、出産、子育てをまちぐるみでサポートする取り組みを進めます。

- ①子育てや教育、福祉などの施策をはじめ、国や道における取り組みも踏まえて検討します。
- ②第6期総合計画の策定過程の中で、町民の皆さんからも御意見をいただきながら、女性が安心して生活できる施策を含め、総合的に検討します。

内田 恵子 議員



**問** 食育宣言のまち・なんぼろの考えは

**答** 各種事業を展開することに専念

内田議員

本年度、国や道の食育計画に基づき、本町においても食育推進計画が作成されました。

食育推進計画における基本理念や目標は、農業を基幹産業とする我が町として、町民に関心を持つてもらいたく「食」に対するクリーンなイメージを力強く推進していくため、また生涯にわたって健全な心身を培い、心豊かな人間性を育てるためにも、計画を一步進めていくべきだと思えます。

例えば「食育宣言のまち・なんぼろ」として宣言し、町のイメージアップ策の一環として取り組んではどうか。安心・安全な農産物の生産と食育宣言をすることは、本町定住者の拡大につながる可能性があると思います。町長の考えを伺います。

町長

本計画は小さなお子さんからお年寄りまですべての町民が食育について関心を持ち、本町の基幹産業である農業と食のかかわりに触れ、食べることを通じて生きる力を育み、健康で豊かな生活を送るための一助となるよう願うものです。

町民が食の大切さを改めて認識し、家庭や学校、職場など様々な場面において、健全な食生活を将来につないでいくための食育が本町においても確立され、その結果として町のイメージアップや本町定住者の拡大につながっていくことを期待します。

計画初年度となる平成28年度は、基本理念に基づいて各種事業を展開することに専念し、食育が町民の中に広く深く浸透し、健康で心豊かな食生活が実践されるよう目標達成に向け取り組めます。

**問** 将来を見据えた健全なまちづくりに必要な方策と課題克服は

**答** 町民一体となり、次世代に繋がる環境づくりに取り組む

川幡 宗宏 議員



川幡議員

今後のまちづくりに必要な方策と課題克服について伺います。

私は、これからのまちづくりの人口構成で、各世代のバランスの取れた構成にならなければ、健全なまちづくりとは言えないと思っています。そこで町長に2点伺います。

①南幌町発展のためのまちづくり政策として、子育て支援の強化と若い世代の誘致対策があると思うが、これらを絶対的に実現していくための必要な方策と課題をどう考えるか。

②今年度策定に向け進めている第6期総合計画にどれくらいの決意で望むのか。

町長

本町の人口減少のスピードを抑制するための目標を定め、重点的に課題に取り組むため、人口ビジョンを含む「南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、子育て世代への政策・誘導策の取り組みを進めています。人口構成については、御指摘のとおりバランスの取れた構成が最も望ましいと考えますが、まずは若い世代を対象に移住・定住施策を最優先に考えています。

①子育て支援強化は、南幌町子ども・子育て支援事業計画に基づき着実に進めていきます。若い世代の誘致対策については、総合戦略で示した施策や事業を推進するとともに観光・教育・

福祉・産業振興など多岐にわたる分野について、引き続き検討します。

②「次世代につながる夢のある故郷づくり」をさらに具体的に実現できるような計画づくりを進め、有効な施策や事業を盛り込めるよう取り組みます。

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

ふるさと物産館ビューローは町の情報発信基地として、町の公共交通の要所として平成12年に建設され、町のシンボルの存在として注目されてきました。これまで一般質問や委員会において何度も議論され、その中で十分な有効活用がされていないと言った声が多く出され、様々な提案もありました。1、2階部分では本町を紹介する展示物はほとんどありません。さらに、

**問** ビューローの施設活用の方策は

**答** 年度内に方向性を決定

まちおこしスペースでは十分な情報通信が利用できない状況で町の歴史、産業の紹介、お勤めの観光コースなどの情報発信が必要と考えます。展示ギャラリー、展望室もアイデア次第でさらに利活用が考えられます。

「なんたらーなんぼろ」等の知名度向上事業の効果で本町を訪れる方も今後ふえることが考えられます。より多くの方がこの施設を利用する事で本町の魅力を感じていただき定住に繋がられる効果もあると思います。が、今後の施設活用の方策をどう考えるのか町長に伺います。

その他の質問

問。ピロリ菌除菌による胃がん対策は。

①特定健診やがん検診と同時にピロリ菌検査の実施は。

②40歳以上にピロリ菌感染検査の無料クーポンまたは一部公費負担はできないか。

③中学生を対象にピロリ菌検査を行う考えは。

町長

①本年度から希望により受診が可能となり、受診者に周知を始めています。

②費用の一部公費負担について検討します。

③先進地の状況や調査研究結果を把握しながら検討します。

町長

平成29年3月には地域総合整備事業債の償還が終了することから、施設本来の目的である観光物産等情報提供の場、町のシンボル、町の駅といった機能を生かしつつ、町民を始め町外の方にも気軽に利用していた

**問** 主要道路の草刈りをふやして  
景観の向上を

**答** 草刈り作業は道路管理者が行うべき

石川 康弘 議員



隣住民の迷惑にもなり、景観や防災、衛生環境にも悪影響を及ぼすことにもなります。それらの問題が起こらないうちに、特定空き家に対する具体的な措置を講ずるべきではないか。

石川議員

町道は草刈りが年2回行われ景観を維持しています。が、主要道路の国道・道道の草刈りは、年1回しか行われていないので、秋には大きな草が生い茂り、歩道にも草が生え景観を損ねているのが現状です。町民は植栽や清掃活動をするなど地域を挙げて環境整備に努力しています。国道・道道の雑草対策は、

町長

国道・道道の草刈りは、安全の確保、視認性の確保が基準とされています。町が国道・道道の草刈りを行う場合は、経費や作業の安全上の問題があり困難であると考えています。町に草刈りなどの要望があった場合は、その都度状況を確認し、道路管理者へ対応をお願いしています。草刈り等の維持管理は、道路管理者が行うものであることから、今後も要請を行っていきます。

いと思われる建物の目視による調査を実施した結果、市街地区37件、農家地区53件、計90件が確認されましたが、法で定める特定空き家等に該当する建物は少ないと判断しています。しかし、市街地内では特定空き家等に近い建物が存在することから、建物の所有者などへ事情確認、改善指導が履行されない場合に飛散防止等の安全代行措置も町が行っています。条例の制定は、法が施行されたことにより考えていません。なお、町の住宅リフォーム事業は住宅の解体も対象にしています。

今後は、景観や防災、衛生環境に悪影響を及ぼす様な特定空き家の見極めを進め、関係機関と連携して対処していきます。

**その他の質問**

**問** 町長は来年1月に任期切れとなりますが、今後の進退をどう考えているのか。

**町長** 本町の課題解決に向け、町民の御理解が得られれば、引き続き町政を担わせていただきたいと思います。

**問** 公園遊具を介護予防遊具へ更新を

**答** 第6期総合計画の早い段階で取り  
組む

西股 裕司 議員



進んでいくことを考慮し、介護予防遊具へ更新していくことについて、町長に伺います。

町長

公園は、小さな子供たちから高齢者までが憩える場所として提供しているものであります。南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンでも、本町も少子高齢化により人口が減少し、高齢化率も高くなると予想されています。

このことから、高齢になっても日常生活の中に軽い運動やストレッチ体操を取り入れることで介護予防にも繋がると考えています。

健康器具系施設に関する安全指針や設置している自治体の効果・活用方法等を調査し、今後は健康遊具の設置を含めて第6期総合計画の中で、早期設置に向けて検討していきます。

西股議員

最近、公園で遊ぶ子供たちが少なくなっている状況を踏まえ、公園を高齢者と子供たちが一緒に楽しめる「場」としての機能を持った新たな形についての考えを伺います。

本町は保健福祉課が中心となり、介護予防事業に取り組んでいます。幅広い年齢層の方が利用できる遊具を設置した公園をつくることで、コミュニケーションが図られることが期待できます。

既存の公園遊具の点検及び修繕・改修も計画的に行われていますが、高齢化が

**問** 介護保険の新しい包括的支援事業について

について

**答** 今後も関係機関と連携強化

熊木 恵子 議員



成の計画が示されているが、「地域支え合い推進員」には専門的知識を持つ職員を配置する必要があると思うが採用計画は。

④要支援1、2の方の対応として、今後も継続してヘルパー、デイサービスを受けられるか、新制度に移行しても現行のサービスを受けることができるよう自治体として責任を持つことが必要と思うが。

**町長**

①医療・保健・介護関係者による保健福祉医療サービ  
ス調整推進会議を月1回開  
催、さらに町立病院と地域  
包括支援センター職員が在  
宅医療の情報交換を3ヵ月  
に1回行っており、今後も  
連携強化を図っていきます。

②老人クラブ会長など47名に「在宅高齢者相談協力員」を委嘱し、早期の認知症に伴う心配事や問題行動を連



絡していただく体制を整えています。平成29年度からは認知症初期集中支援チームを設置します。

③地域支え合い推進員は平成29年度に配置を予定しています。町の介護予防事業を十分理解して活動できる方の配置を検討しています。

④平成29年度の新総合事業に移行しても同様のサービスは継続して利用できます。

**その他の質問**

**問** 町の景観を保護する条例制定は。

**町長** 単独条例の制定は考えていません。

**問** 福祉避難所の協定は

**答** 先進事例を調査

志賀浦 学 議員



**志賀浦議員**

この20年あまりで、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震と起きています。が、町長に3点伺います。

①国は阪神淡路大震災を教訓に福祉避難所の必要性を訴えています。本町でも、施設1箇所を指定済みとあるが、どこを指定しているのか。また、町内各施設と福祉避難所の協定に取り組み、防災マップに記載する予定は。

②近隣町村の取り組み状況は。  
③要援護者、障がい者、乳幼児を抱えている方等の避難場所割りには想定しているのか。

**町長**

①本町の福祉避難所は「あいくる」を指定しています。しかし、医療用備蓄品や医療機関との連携、専門職員、相談員、ボランティアの確保等、受入体制が整っていないので整備を進めます。また、福祉避難所の協定については、先進事例を調査していきます。

防災マップへの掲載は福祉避難所として整った段階で行います。

②近隣の指定状況は長沼町「りふれ」を福祉避難所として指定し、栗山町、月形町、美唄市が民間施設と協定を締結している状況です。  
③あいくる内は400名ほど避難することができま  
す。区分けは、2階を含め  
検討しています。

全員協議会

6月3日

- コミュニティ・スクール事業
- 道央廃棄物処理組合
- 町内巡回バス運行経路

委員会活動

(4月～6月までの開催分)

総務常任委員会

- 議員報告懇談会について  
4月7日

産業経済常任委員会

- 議員報告懇談会について  
4月6日

議会運営委員会

- 道内政務調査について  
4月14日
- 定例会の運営について  
6月8日

まち活性化特別委員会

- 議員報告懇談会について  
4月14日

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

平成28年第2回議会定例会



●議案第44号 平成28年度南幌町一般会計補正予算(第1号)

賛成

本間秀正 川幡宗宏 原田弘克 志賀浦学 内田恵子  
西股裕司 佐藤妙子 菅原文子 石川康弘

反対

熊木恵子

掲載されていない議案はすべて全員賛成

議長は採決に加わっていません。

議員研修

北海道町村議会議長会主催  
全道議員研修会

7月5日、札幌市コンベンションセンターで開催され、立正大学客員教授 高野誠鮮氏からは「ひとを動かし、まちを動かす」、東京新聞・中日新聞論説副主幹 長谷川幸洋氏からは「日本の行方」政局・政治展望」と題してそれぞれ講演が行われました。



空知町村議会議長会主催  
空知議員研修会

7月26日、新十津川町総合健康福祉センターで開催され、北海道大学大学院准教授 岸邦宏氏から「これからの地域公共交通のあり方を考える」と題して講演が行われました。

議会懇談会を  
ご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくことと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見等を議員が直接伺います。
- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。

その他

- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。懇談時間は2時間以内とします。
- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください

# 平成27年度分 町議会議員の税等納付状況

南幌町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を公表します。

平成28年6月1日現在

職名	氏名	町道民税	固定資産税	国民健康保険税	軽自動車税	下水道使用料	農業集落排水施設使用料	介護保険料	後期高齢者医療保険料
議長	側瀬 敏彦	○	○	-	-	-	-	-	-
副議長	本間 秀正	○	○	○	○	-	-	-	-
議員 (議席番号順)	川幡 宗宏	○	○	○	○	-	-	○	-
	原田 弘克	○	○	-	-	○	-	-	-
	志賀浦 学	○	○	-	○	○	-	-	-
	内田 恵子	○	-	-	-	-	-	-	-
	西股 裕司	○	-	○	-	-	-	-	-
	佐藤 妙子	○	-	○	○	-	-	-	-
	菅原 文子	○	-	○	-	○	-	-	-
	石川 康弘	○	○	○	○	-	-	-	-
	熊木 恵子	○	-	-	○	-	-	○	-

【表示例】 「○」・・・当該年度に納付すべき額がすべて納付されている場合  
 「×」・・・当該年度に納付すべき額に未納がある場合  
 「-」・・・本人に納付義務等がない場合

## 定例会の録画映像DVDの貸し出しについて

身近な議会、開かれた議会の実現を目指し、本会議を録画したDVDの貸し出しを行っています。

録画映像DVDの貸し出しは、議会事務局へお問い合わせください。

## 私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します。



水泳教室指導者 やまもと さなえ 山本 沙奈絵さん（西町在住）

5月にオープンした町民プールで指導をされている山本さん。水泳を本格的に始めたのは18歳のころ、昨年アクアダンスエクササイズの資格をとり、現在2人のお子さんの子育てをしながら、週5回の教室を持ち、子供さんから高齢者まで多くの方に水泳の楽しさを教え、町民の健康づくりに頑張っています。

山本さんは「泳げても、泳げなくても皆さん一緒に楽しみ、健康になりましょう」とコメントしていました。

議会広報委員 原田 弘克